

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101977		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームうぐいすの家		
所在地	〒734-0041 広島市南区黄金山町6番5号 (電話) 082-510-2555		
自己評価作成日	平成26年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3470101977-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年3月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

中庭等に季節の花木があり、花や柿の実等を見て楽しんで頂いている。利用者と共にプランターに花を植え、会話や共に手入れをすることで共感を得ている。オルガンの伴奏で懐かしい歌を歌って楽しんで頂いたり、調理・工作・繕い物等日常生活を通してできる事を続けてして頂いている。利用者同士のかかわりに留意し、利用者同士に思いやりや優しさ、気遣いが出てくるような親しさを感じていただけるように声掛け等気をつけている。法人全体で旅行や花見、寿を祝う会を企画し、ご家族も交えて楽しんで頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は旧民家を改築し建設したもので、施設裏の中庭には紫陽花や柿の木があり季節に応じて利用者の目を楽しませるとともに、夏には利用者家族とともに「そうめん流し」をして楽しんだりして喜ばれている。
リビングにはオルガンを置き、音大出身の介護福祉士が皆の希望の曲を募って伴奏し、利用者、職員が演奏に合わせて一緒に歌を歌って楽しんでいる。
利用者がすべて女性であり、年代も近いことから利用者同士お互いの身体を気遣ったりしており、職員がそれを仲介したり、一緒に話をしたり、家庭的な雰囲気のある施設である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を職員が見える場所に掲示し、毎朝申し送り時に読み合わせをしています。理念を元に新年互礼会で各ホームごとの目標を立て、日々取り組んでいます。	法人の理念を事業所内の見えやすい場所に掲示し、また、職員全員に携帯用カードを配布し、理念の共有を図っている。理念を元に、事業所の年間目標を職員全員で考えて立て、理念の具体化について取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に参加しています。役員も定期的に引き受け、掃除や祭りなどの行事にも参加しています。	月1回、町内清掃には、職員、利用者も可能な方は参加し、日常的に交流している。また、散歩に出かけた時には、地域の方と挨拶をしたり、花を頂いたりといった交流もしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方からの相談（認知症の方への対応の仕方、施設への入居、介護等）に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所での活動や利用状況を会議でお伝えし、町内会からは行事予定などをお知らせ頂いています。	利用者、家族、民生委員が参加し、事業所での行事の報告や、家族からの質問などを受けている。町内会の総会に出席し、町内会長などの地域の方の出席を呼び掛けているが、実際は出席できていない状況である。また実施状況も2～3か月毎で、年間6回の実施がなされていないことがある。	地域包括支援センター職員や、町内会長など出席が出来ていない方に対して、呼びかけを工夫し、双方向の意見交換をし、そこでの意見を事業所のサービス向上につなげていくことが望めます。また、次回開催の日程を事前に決めておくことで、出席率向上につながることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市主催の研修、集団指導に参加しています。生活保護受給者の為に生活課の担当者と密に連絡を取っています。	運営推進会議の議事録や、外部評価の結果などを市担当課へ郵送し、取り組み内容などを伝えている。また、事業所の更新申請のために、市担当者とも密に連絡を取っている。生活保護受給者が数名おり、2カ月に1回担当者が事業所を訪問し、連絡を取り合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束排除宣言」を掲げ、研修を通じて理解を深め取り組んでいます。玄関の鍵を閉めない、ベッド柵で囲まないなど実践に取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、法人全体で研修会を行っており、各施設へ伝達している。また、玄関に鍵をかけていないため、職員同士が利用者に対してさりげなく声掛けをし、散歩をして気分転換を図っていることもある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルの作成、研修会への参加により「絶対しない、させない」を合言葉に取り組んでいる。排除宣言を掲げている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内・社外研修に参加し、理解を深めています。必要な方は制度を利用出来る様に支援しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容、重要事項説明書等は十分に読んで頂き、説明を行い理解・納得の上押印して頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族からの意見・要望の窓口として玄関に意見箱を設置し、運営に反映させています。又、面会時にもご意見を伺っています。</p>	<p>家族の意見は、面会時に聞き、職員へ口頭で伝え、特別なことがあれば申し送りノートへ記入し、伝達している。また、月に1回請求書と一緒に送る利用者の近況を報告する手紙で意見交換をしている。その手紙を楽しみに待っており、手紙が届かないという意見があった時には、別便で送るようにした事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>1年に1回自己申告書を提出しています。ミーティング等で管理者が得た意見は代表者へ報告し、業務に反映させています。</p>	<p>管理者、現場の職員を含めて、法人代表へむけて異動の希望や、仕事に関する意見を自己申告書と言う形で提出する機会を設けている。事業所内では不定期のミーティングを開催している。ミーティングの結果業務の見直しや指示、命令体系がしっかりできるようになった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員から管理者、管理者から代表へと意見等を把握して、条件整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間を通して研修プログラムを作成し、社内外・キャリアパス等の受講機会を確保しています。資格取得の為の援助や取得者には褒賞で努力を称えています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の同業者交流会に参加し、サービスの質の向上に役立っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用開始から相談を受け、情報を把握しています。入居後も本人が安心出来る様に職員全員でケア方法を考えながら関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用開始前より、電話や訪問で家族や本人が困っている事、悩んでいる事をお聞きし、お答えできるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の思いや家族の意見に耳を傾けながらケアマネジャーと今必要な支援を決める様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者主体であることを常に理解し、できる事はやって頂き、できない事も職員と一緒にするようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人と家族の思いを常に考慮し、ホームでの行事には参加の声掛けをしています。面会時にはゆっくりと過ごして頂ける様配慮しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人や家族に入居時、馴染みの人や場所を聞いています。馴染みの場所には職員が同行し、関係が途切れないように支援に努めています。	なじみの理美容院の方に事業所へ来てもらい、散髪をしてもらっている。また、歯科や墓参り、入居前の自宅など本人のなじみの場所には、職員が同行して関係が途切れないような支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者が会話のできる場を作ったり、職員も含めコミュニケーションを取っています。ソファの位置やテーブルの位置を考え、配置しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去されたり他施設を利用されても、相談等に応じ支援しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや家族の思いを聞き、アセスメントに記入し、日々の介護に役立てています。聞くことが難しい場合はご本人の表情等を観察し、職員で十分に話し合いをしています。	センター方式によるアセスメントは、事業所管理者（介護支援専門員）が行い、家族本人から意向を聞いている。日々の本人の思いは、部屋担当職員やその日の出勤職員が聞き、その都度どういったことがしたいか聞き、思いを反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前、入居時にご家族やご本人からこれまでの生活をお聞きし、アセスメントし、プランに役立てています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々共に生活する中で利用者様の現状把握に努め、今後の生活支援に活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の生活の中からアセスメントし家族や本人、職員にも意見を聞きながらプランを作成しています。1ヶ月ごとにモニタリングし4ヶ月ごとにプランを作成しています。</p>	<p>介護支援専門員が暫定のケアプランを作成し、職員や、本人・家族の意見を踏まえて最終的なプランを完成させている。1か月ごとに介護支援専門員がモニタリングをし、状況に応じてケアプランを変更している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人の生活日誌に様子や気づきを記入しています。申し送りノートなど使用し、職員全員で情報を共有しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>外出や受診には職員が同行したり、家族がホームに宿泊し共に過ごしたり、本人や家族の希望にできるだけそえるようにしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りに参加したり、中学生や専門学校生の職場体験や研修に協力することで地域との交流を楽しんでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>希望があれば入居前のかかりつけ医に引き続き受診して頂いています。希望ない時は家族、ご本人の承諾を得て事業所の協力医にお願いしています。定期的に往診や検査を受けて頂いています。</p>	<p>入居前のかかりつけ医に受診希望があれば、家族の付き添いにて受診し、その結果なども、家族から事業所へ伝えている。また、事業所の協力医が週1回往診を行っており、他科（眼科、皮膚科など）の受診の必要性があれば、紹介状を渡して受診できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎朝健康チェックを行い、表情や顔色を観察し、異変があった場合は事業所の看護師に報告、相談し対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際職員が面会へ行き、洗濯物を持ち帰ったり、必要時には付き添いや食事介助を行っています。病院相談室や看護師と情報交換し、早期退院に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居前、入居時と重度化した時のことを家族と話し合っています。事業所では看取りをすることも説明し、医師や職員と共に協力し取り組んでいます。</p>	<p>重度化し慢性期の状態になれば、事業所での看取りができることを、家族や協力医とも話し合いをし、事前に確認をとっている。職員全員が利用者のかたが「ここにいてよかった」と思えるケア（関わり）をしているように、日々努力している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成し、初期研修等で実践につなげることができるよう訓練しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成しています。年2回、利用者様・職員共に参加し避難訓練を行っています。</p>	<p>法人全体の防災マニュアルを作成し、新年互礼会や新人初期研修の際に、職員へ徹底させている。また、地域の方には災害時に協力してもらえるように呼びかけてはいるが、避難訓練に参加するところまでは至っていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な言葉掛けを行っている。プライバシーには充分配慮し、職員同士気をつけながら対応しています。	年度初めには、法人内で外部講師等に依頼し、プライバシーに対する研修などを行い、職員へ徹底させている。排泄に関して大きな声で話さない、「ちょっと待ってね」といった声掛けをなるべくしないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で選択し自分で決める事ができる場面を作っています。作業しながら同じ目線に立ち、気持ちを聞き出せるよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の流れの中で健康的な生活が送れるよう、一人ひとりのペースに合わせて共に行動し支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様の好まれる服などを聞き、一緒に服など準備しています。外出時にはお化粧をしたり、スカーフなどでおしゃれを楽しんで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けなど、職員と一緒に行っていきます。献立も一緒に立て、好きな物を取り入れられるようにしています。	盛り付けや食器洗いなど、本人の能力に応じて役割をもってもらっている。また、本人の好みなどを聞き、毎週火曜日の夕食には、近所の鮮魚店から刺身が届き、利用者の楽しみとなっている。誕生会などでの外食（ファミリーレストラン、回転すし）も、個別に意向を聞き対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量・水分摂取量共に記録し，その時の気付きや変化も記録し継続できるようにしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行い，口腔状態を観察しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>必ず排泄の記録をつけると共に，一人ひとりのパターンに合わせてトイレ誘導を行っています。</p>	<p>排泄チェックを表をみながら，排泄前にはさりげなく声掛けをして，トイレでできるような支援をしている。声掛けによりパットの使用頻度が減った事例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>運動、体操、散歩等また水分摂取量を考え、自然排便を促すように努めています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご本人の体調や希望に合わせて，個々に応じた入浴の支援をしています。又，季節を楽しめるよう，しょうが湯やゆず湯を実施しています。</p>	<p>週3回、午後から入浴が出来るように支援している。もともと、夕食後に入浴していたが、食事後であると面倒臭くなり、午後（夕食前まで）に入浴するようになった。個々の希望に応じて、お湯の温度や風呂の長さに対応している。法人全体で、近所の農家よりゆずを多くもらうことがあり、ゆず湯を楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の体調や精神状態を観察しながら休息して頂いています。週に1回はシーツ交換を行い、天気の良い日は布団干しをしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>個人記録にも薬について記録しています。内服薬も服用後、症状の変化があれば医師に報告しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個人個人の趣味や楽しみ事を把握し、アセスメントに記録しています。色々協力的に役割りを持って頂いたり、リハビリも兼ねて手作業してもらっています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩や買い物、プランターの世話、1泊2日や2泊3日のバス旅行も企画し積極的に出かけられるように支援をしています。</p>	<p>利用者の希望を聞き、天候が良ければ、近所を散歩するようにしている。また、年1回のバス旅行（25年度は出雲大社）では、家族や職員などが付き添い、外出が楽しみになるように支援している。花見なども弁当持参して行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ホームに手元金をお預りしており、本人の希望により職員と買物に出かけたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば、プライバシーに配慮し、子機を使用し電話をしたり手紙のやり取りができるようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の壁飾りを作って飾ったり、窓から見える中庭の木や花を楽しんで頂いたりしています。温度は利用者様の様子を見て調節しています。</p>	<p>書道が趣味の利用者がおり、歌の歌詞を書き、リビングに貼って皆で歌って楽しんでいる。季節に応じた花を飾り、リビングにソファを置くなど、ゆっくりとくつろげるような配慮をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>1人掛けや3人掛けのソファがあり、一緒に座ってお話をされたり食卓の椅子に座って職員と作業されたり、自由に座って頂けるようにしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居される時にそれまで使っていた物を持って来て頂き、今までと同じようにご自宅として過ごして頂いています。</p>	<p>テレビやタンス、仏壇、家族の写真など、自宅で使っていたり、飾っているものをそのまま持参し、居心地良く過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>段差や階段等あるが、職員が常に見守り声掛けを行い、できる事を続けてやって頂けるようにしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームうぐいすの家

作成日 平成26年4月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の緊急避難をスムーズに行う	1. 利用者の安全を守る	①夜間の災害に備えて避難訓練を実施(2~3回/年) ②実際に夜間、職員に招集をかける	1年
2			2. 町内会と災害協定の締結	①運営推進会議を通して町内会に願います。 ②消防署の方に会議に参加して頂き協力を得る	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。